

現場施工用防曇鏡の施工方法及び設計

1. 参考施工方法

設置の前に

防曇鏡用ヒーター（以下、ヒーター）の抵抗値をテスターで測定する。

抵抗値の算出方法： $R = V^2 / W$

100V - 37W（201Fの場合）

$100^2 \div 37 = 270$ （±15%範囲内が正常値となります。）

導通が無い場合や抵抗値が正常範囲外の場合は、施工を中止して販売店までご連絡下さい。

設置方法

（1）鏡にヒーターを取り付ける。

ヒーターに仮止めされているPSEステッカーを取り外す。

鏡の裏側をウエスで拭き、ゴミや汚れが残らないようにきれいにする。

鏡の裏側にヒーターの取り付け位置を決め、ヒーターの四隅をマーキングする。

ヒーター取り付け位置は、鏡の端からそれぞれ100mm程度離す。

ヒーターに付いた離型紙を剥がし、鏡に予めマーキングした位置の短辺にヒーターを合わせ、空気溜りが出来ないように順次長手方向に貼り付け、手圧にてヒーター全面に押し付ける。

ヒーターを貼る時は、少し反らせる程度とし、絶対に折り曲げないこと。

PSEステッカーの離型紙を剥がし、ヒーター表面に貼り付ける。

別紙に示した貼り付け手順を参照下さい。

（2）洗面化粧台パネル、壁などに電源リード線の出し穴を開ける。

壁への鏡の取り付け位置を決め、ヒーターの電源リード線の出し位置をマーキングする。

マーキング位置にドリルで下穴を開ける。

ホルソーを用いて穴を広げる。

サンドペーパーで、広げた穴のバリなどを落とす。

（3）電源リード線の結線（照明回路に並列接続する場合）

漏電遮断器を切る。（照明スイッチを入・切して必ず確認する）

電源リード線を洗面化粧台照明の回路に並列に接続する。

（4）鏡の設置

鏡の取り付け位置に従って、鏡固定用金具を取り付ける。

鏡固定用金具は、ヒーターと壁間隔を10mm程度あけられるものを選定下さい。

鏡に貼り付けたクッション性両面テープの離型紙を剥がし、壁裏に湿気が漏れないように電源リード線穴加工部に防水処理をする。

壁に開けた穴に電源リード線を差し込むように鏡を壁に貼り付ける。

鏡固定用金具で、鏡を固定する。

（5）動作確認

洗面化粧台用の漏電遮断器を復帰させ、照明のスイッチを入れる。

15分程度連続して通電し、鏡のヒーターを貼り付けた部分が温かくなっている事を確認する。

（6）注意事項

電気工事は、電気工事士に依頼する。

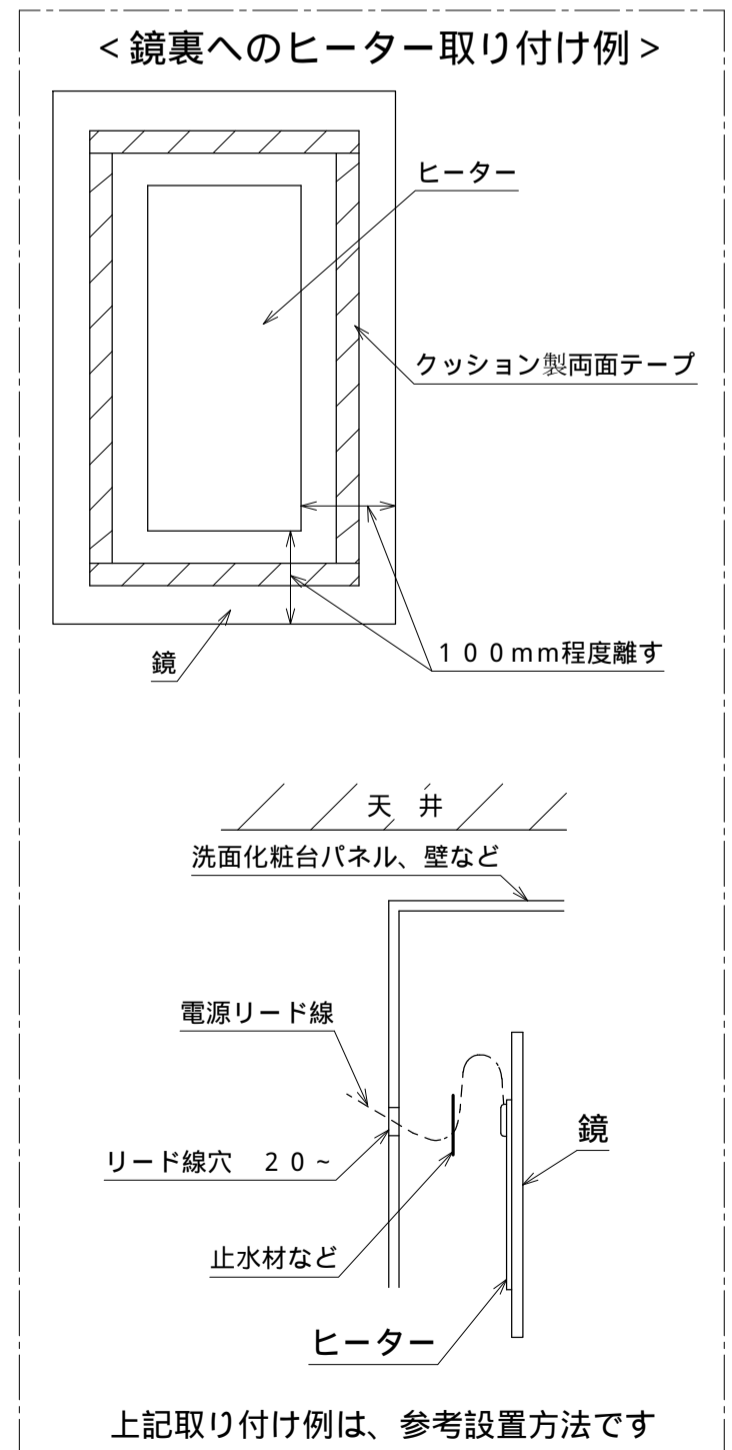
電気工事の際は、必ず漏電遮断器を切って作業する。

作業時に、ヒーター及び電源リード線などに傷を付けない事。

全ての工事を終えた後に、曇り止め効果を確認する。

本設置方法は、平均的な取り付け方法に関する記述です。

不明な点は、販売店までご連絡下さい。



2. 施工上の注意

- (1) ヒーターに仮止めしてある PSE ステッカーを、施工時に必ずヒーターに貼り付けて下さい。
- (2) 1度剥したヒーターの再利用は絶対にしないで下さい。ヒーターに損傷を与え、漏電もしくは火災を引き起こす危険があります。
- (3) 施工時もしくは保管時において、ヒーターに傷を付けないよう取り扱いには、十分注意して下さい。
傷がついた場合は、漏電の危険がありますので絶対に使用しないで下さい。
- (4) 配線は壁面を貫通させ、湿気の少ない場所で結線して下さい。
また貫通孔は、防水処理をして下さい。
- (5) 電源リード線を強く引っ張らないように取り扱いには注意して下さい。
- (6) 鏡が反った状態でヒーターの接着、施工および使用はしないで下さい。
- (7) 1枚の鏡に2枚以上のヒーターを取り付ける場合は、並列配線をして下さい。
- (8) ヒーターの施工にあたっては、電気設備技術基準および内線規程に沿って電気工事士が施工して下さい。
- (9) 施工終了後、3. 使用上の注意に示す使用上の注意事項を、使用者が見えるところに表記して下さい。

3. 使用上の注意

- (1) ヒーターを装着した鏡表面は、ヒーターを使用すると冬季でも30度位、夏季には50度位まで鏡の温度が上昇します。
(温度が高いと思われる時は、即時に使用を中止し販売店までご連絡下さい。)
- (2) 鏡を使用されない時は、ヒーターのスイッチを切るようにして下さい。
- (3) 鏡の付近に、可燃物(ヘアスプレー、髭剃りクリーム等)や発熱する危険のある電気製品を置いたりしないで下さい。
- (4) 鏡が反った状態でヒーターを使用しますと鏡が割れる危険が非常に高くなります。
- (5) (1)~(4)の使用上の注意を使用者に通知下さい。

4. 設計上の注意

防曇鏡の設計にあたっては下記のことをご注意下さい。

- (1) ヒーターは、下記の場所には使用出来ません。(使用制限)
在来工法の浴室内
システムバスの浴室内(脱衣所以外)
その他、水がかかる危険のある場所
鏡内に照明用の穴加工を施した鏡。
歪ませて施工・加工された鏡への御使用。
日本国外製等、端面処理の品質の良くない鏡への使用。
鏡の曇り止め用以外には使用出来ません。
本製品を医療用等、人命に関わる用途については使用しないで下さい。
その他不明の点については、販売店にお問い合わせ下さい。
- (2) ヒーターと壁面の間に熱や湿気がこもらないように、壁面とヒーターの間は10mm以上空間が出来るように設計して下さい。
- (3) ヒーターを鏡に貼った後、鏡を設置するように設計して下さい。
(壁にヒーターを仮止めした後に、鏡をヒーターに貼る施工方法はしないで下さい。)
- (4) 電源リード線の取り回しには、ゆとりをもった設計をして下さい。
- (5) ヒーターの使用にあたっては、漏電遮断器を取り付けて下さい。
- (6) 鏡が反った状態でヒーターの装着、施工および使用しないよう設計して下さい。鏡が割れる危険があります。